

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成31年4月11日(2019.4.11)

【公表番号】特表2018-507245(P2018-507245A)

【公表日】平成30年3月15日(2018.3.15)

【年通号数】公開・登録公報2018-010

【出願番号】特願2017-546767(P2017-546767)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/497	(2006.01)
A 6 1 K	31/4188	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/04	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/497	
A 6 1 K	31/4188	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	35/04	

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月4日(2019.3.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

脳腫瘍の治療のための、ブリナブリンを含む組成物。

【請求項2】

前記脳腫瘍が、転移性脳腫瘍、未分化星状細胞腫、中枢性神経細胞腫、脈絡叢がん、脈絡叢乳頭腫、脈絡叢腫瘍、胚芽異形成性神経上皮腫瘍、上衣腫瘍、線維性星細胞腫、巨細胞膠芽腫、多形性グリオblastoma、大脳神経膠腫症、神経膠肉腫、髓芽腫、髓上皮腫、髓膜癌腫症、上衣腫、神経芽細胞腫、神経細胞腫、乏突起星細胞腫、乏突起膠腫、視神経鞘膜腫、小児上衣腫、毛様細胞性星細胞腫、松果体芽細胞腫、松果体細胞腫、多形性未分化神経芽細胞腫、多形性黄色星状膠細胞腫、原発性中枢神経系リンパ腫、蝶形骨翼髓膜腫、上衣下巨細胞星状細胞腫、上衣下腫、中枢神経系骨髓腫、三側性網膜芽細胞腫、およびそれらの組み合わせから成る群から選択される、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記脳腫瘍が、転移性脳腫瘍、未分化星状細胞腫、多形性グリオblastoma、乏突起膠腫、上衣腫、またはそれらの組合せである、請求項2に記載の組成物。

【請求項4】

前記脳腫瘍が、多形性グリオblastomaである、請求項3に記載の組成物。

【請求項5】

前記脳腫瘍が、転移性脳腫瘍である、請求項3に記載の組成物。

【請求項6】

追加の治療薬と組み合わせて用いる、請求項1～5のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項7】

前記追加の治療薬が、テモゾロミドである、請求項6に記載の組成物。

【請求項8】

さらに放射線療法と組み合わせて用いる、請求項1～7のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項9】

前記脳腫瘍が、K R A S の変異型の発現を特徴とする、請求項1～8のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項10】

脳腫瘍細胞の増殖を阻害するための、プリナプリンを含む組成物。

【請求項11】

脳腫瘍細胞のアポトーシスを誘導するための、プリナプリンを含む組成物。

【請求項12】

脳腫瘍の進行を阻害するための、プリナプリンを含む組成物。